

... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... *

北海道バイオマス・メールマガジン 第 8 号

[2006.12.26発行] 北海道バイオマスネットワーク会議

* ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... *

* *

<<もくじ>>

平成19年度予算政府案が決定！

株式会社アレフ（本社：札幌市）が平成18年度バイオマス利活用優良表彰を受賞！

「共同利用型バイオガスプラントの課題と展望に関するシンポジウム」開催のお知らせ

「バイオディーゼル燃料(BDF)混合軽油の規格化に関する説明会」開催のお知らせ

北海道バイオマスネットワーク・フォーラム2007開催決定！

事務局日より

読者のみなさまからの情報をお待ちしています

編集後記

* *

平成19年度予算政府案が決定！

12月24日の臨時閣議で、平成19年度予算の政府案が閣議決定されました。バイオマス関連では、特にバイオエタノールなどのバイオ燃料関連予算が新たに盛り込まれました。関係省庁公表資料からその主なものの概要を抜粋すると以下のとおりです。

国土交通省

住宅等へのバイオガスの多角的利用に関する地産地消モデル構築調査（2.2億円）

家畜排せつ物由来バイオガスをトラクタ等の燃料や住宅等へ多角的に利用するシステムを確立し、「エネルギー地産地消」の地域モデルを構築するための調査・検討

環境省

バイオマスエネルギー導入加速化戦略（99.4億円）

バイオエタノール等輸送用エコ燃料の大都市圏及び宮古島等における大規模導入を始め、多様なバイオマスエネルギーの利用促進に係る施策を大々的に展開

エコ燃料実用化地域システム実証事業費

大都市圏におけるE3供給システムの確立及び沖縄県宮古島等における地域のバイオマス資源を活用したエコ燃料生産・利用拠点づくりを支援

エコ燃料利用促進補助事業

廃棄物等からのバイオ燃料製造及びこれらエコ燃料の利用に必要な設備の整備について補助

地球温暖化対策技術開発事業

木質バイオマスのエネルギー利用技術の開発、E10への対応促進のための技術実証等を進めるための技術開発を推進

廃棄物処理施設における温暖化対策事業

高効率な廃棄物エネルギー利用施設及び高効率なバイオマス利用施設等の整備事業で一定の要件を満たすものについて、これに伴う投資の増加費用に対して支援

農林水産省

国産バイオ燃料導入促進対策（109億円）

国産バイオ燃料の本格的な導入に取り組むため、地域の関係者が一体となった取組に対するハード・ソフト両面での支援や、資源作物の導入に向けた研究開発を実施

地域に眠る未利用バイオマスの発見・活用

国産バイオ燃料の生産拡大に向け、地域に眠る未利用のバイオマスを発見し、活用する取組を支援

バイオ燃料地域利用モデルの整備と技術実証への支援

食料生産過程の副産物、規格外農産物等を活用して、バイオ燃料の地域利用モデルの整備と技術実証に対する支援

資源作物の導入等に向けた研究開発

中長期的視野に立ち、資源作物の導入等に向けたバイオ燃料の低コスト・高効率生産技術の開発等

新たなバイオ燃料の利用の促進

家畜排せつ物由来のメタンガスのバイオ燃料としての利用を推進することにより、新たなバイオ燃料の利用の促進

木質バイオエタノールの低コスト生産技術の開発

木質バイオマスからのエタノール製造技術の開発の加速化に向けた最適なシステムを設計

経済産業省

バイオマス由来燃料に係る調査研究・技術開発・実証（102億円）

E T B E の影響等の調査研究や、E T B E の製造やバイオエタノールを混合したガソリンの流通実証及びバイオエタノールの製造技術開発等を支援

株式会社アレフが平成18年度バイオマス利活用優表彰を受賞！

平成18年12月22日、平成18年度バイオマス利活用優良表彰22件が発表されました。北海道関係では、道内外でレストランチェーンを経営する株式会社アレフ（庄司昭夫代表取締役社長、本社：札幌市）が農林水産省農村振興局長賞を受賞することとなりました。同社は全国に展開する直営外食店舗136のうち88店舗において排出される食品残さを、店舗設置型の生ごみ処理機で処理し、各地域の牧場・農家に提供して完熟堆肥を生産、その堆肥を利用して生産された農産物の一部を食材として利用するリサイクルチェーンを構築しているほか、ナタネを栽

培して搾油した食用油を各店舗で使い、廃食油からBDFを精製し、農業機械等で利用する「アレフナタネプロジェクト」を開始しました。道内での受賞は昨年度の札幌グランドホテルにつづく受賞です。

表彰式は、来年2月23日(金)に札幌市で開催される「北海道バイオマスセミナー」で行われる予定です。

詳細は、(社)日本有機資源協会のHPをご覧ください。

http://www.jora.jp/txt/katsudo/b_recruit18/index.html

「共同利用型バイオガスプラントの課題と展望に関するシンポジウム」開催のお知らせ

独立行政法人土木研究所寒地土木研究所が主催、北海道バイオマスネットワーク会議等が後援する「共同利用型バイオガスプラントの課題と展望に関するシンポジウム」が次のとおり開催されます。

今回は、国内で稼働中あるいは建設中の共同利用型バイオガスプラントの管理者が一堂に集い、各プラントの運営上の課題や解決策を討議するシンポジウムになります。日々のプラント運営に携わっている方々の生の声を聞くことができる貴重な機会です。

多くの方々のシンポジウム参加を期待しています。

プログラムの詳細等につきましては、寒地土木研究所のホームページ(<http://hozen.ceri.go.jp/project/>)をご確認ください。

開催日時：平成19年1月30日(火) 13:00～18:00

開催場所：独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所 1階講堂
札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34
(地下鉄南北線 中の島駅より徒歩3分)

報告事例：

北海道	別海プラント	寒地土木研究所	横濱充宏 氏
北海道	鹿追プラント(建設中)	北海道十勝支庁	渡辺文明 氏
京都府	八木プラント	南丹市	中川悦光 氏
熊本県	山鹿プラント	山鹿市	栃原栄一 氏
大分県	日田プラント	日田市	永瀬与志宏 氏

主催者：独立行政法人土木研究所寒地土木研究所

後援団体：

北海道開発局、日本土壌肥料学会北海道支部、農業土木学会北海道支部、特定非営利活動法人グリーンテクノバンク、北海道バイオガス研究会、北海道バイオマスネットワーク会議

参加申込：参加費は無料、定員約100名となっています。

申込方法については、寒地土木研究所のホームページ

(<http://hozen.ceri.go.jp/project/>)をご参照ください。

問い合わせ先：(独)土木研究所寒地土木研究所

寒地農業基盤研究グループ資源保全チーム

担当：石田・中山(電話番号：011-841-1754)

「バイオディーゼル燃料(BDF)混合軽油の規格化に関する説明会」
開催のお知らせ

経済産業省が主催する「バイオディーゼル燃料(BDF)混合軽油の規格化に関する説明会」が次のとおり開催されます。

この説明会は、同省でBDF混合軽油を適正に使用するため、燃料政策小委員会等においてBDF混合軽油の規格を検討され、その規格案がとりまとめられたのを踏まえ、本年度内に「揮発油等の品質の確保等に関する法律施行規則」の一部を改正することとしていることから、同規則の改正について、関係者への理解・周知を図るべく、全国各地で開催されるものです。

説明会の詳細等につきましては、北海道経済産業局のホームページ
(http://www.hkd.meti.go.jp/hokno/bdf_setsumei/index.htm) を
ご確認ください。

開催日時：平成19年1月17日(水) 13:30～15:30

開催場所：センチュリーロイヤルホテル20階「白鳥の間」

(札幌市中央区北5条西5丁目 TEL:011-221-2121(代表))

内容：BDF混合軽油の規格化に係る「品確法」改正について
(説明者)経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部
石油流通課 課長補佐 土屋 武大 氏

規格改正案の内容

：第21回燃料政策小委員会配付資料

(<http://www.meti.go.jp/committee/materials/g60612bj.html>)

申込方法：参加申込書に必要事項を記入のうえ、平成19年1月
12日(金)までにFAX又はE-mailにて、下記あてに
お申し込み下さい。

問い合わせ：経済産業省北海道経済産業局

申込先 資源エネルギー環境部石油課
担当：作田、鈴木

TEL: : 011-709-2311(内線2640～2642)、FAX:011-709-4130

北海道バイオマスネットワーク・フォーラム2007開催決定！

北海道バイオマスネットワーク会議では、昨年度に引き続き2回目の
「北海道バイオマスネットワーク・フォーラム2007」を、来年3月
28日(水)午後1時30分から、北海道大学学術交流会館講堂(札幌
市北区)で開催します。今回のフォーラムは、現在、国が見直しを進め
ている食品リサイクル法に関連し、食品系廃棄物の利活用を主要なテー
マとして、講演やパネルディスカッションを予定しており、現在、準備
を進めているところです。フォーラムの詳細については、来月にもお知
らせたいと思います。

事務局だより

来年度の政府予算案が先日発表されましたが、バイオエタノールにつ

いては、農水・環境・経産三省合わせて約280億円が計上され、バイオマス関連予算の中でも群を抜いています。

本道では、JA北海道中央会が十勝管内清水町に国内最大級のプラント建設を予定しており、バイオマス燃料については来年度、大きな動きが期待できそうです。

昨年末から配信を始めたバイオマスメールマガジンも今回で9回目。

来年は、更なる内容の充実に努めていきたいと思っておりますので、読者の皆さんからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取組みや情報などを、このメールマガジンで紹介させていただきますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

登録変更・解除について

配信登録の内容変更（送信先メールアドレスの変更など）や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局（北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ）で配信しています。

* 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 *

* TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 *

* E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp *
